

平成27年第9回栗原市教育委員会定例会会議録

1. 招集日時 平成27年8月26日(水) 午後2時

2. 招集場所 栗原市金成庁舎2階 201会議室

3. 出席委員

1番	笠間 八十公	委員	2番	佐々木 一彦	委員
3番	亀井 芳光	委員	4番	白鳥 正文	委員
5番	早坂 留美	委員			

4. 説明のため出席した者

部長	鈴木 正弘
次長	菅原 昭憲
次長	白鳥 智之
教育総務課長	高橋 喜美男
学校教育課長	加藤 栄悦
学校教育課副参事	高橋 伸
社会教育課長	千葉 正一
文化財保護課長	高橋 久悦

5. 本委員会の書記は次のとおりである

教育総務課長補佐 白鳥 明美

6. 開 会

午後2時00分

教育総務課長 只今から平成27年第9回栗原市教育委員会定例会を開会いたします。

一同礼。御着席願います。

今日は、5名全員の出席でございます。それでは開会の挨拶を教育委員長よりいただき、その後、教育委員長の進行のもとに進めていただきますので、よろしく願います。

7. あいさつ

佐々木委員長 今日、気温が21度と10月中旬の天気となり、猛暑に飽きていた体には、過ごしやすさを感じますが、週間予報を見ても、温度変化に対応した体調管理に気を付けていきたいところです。

今月は、本市合併10周年記念イヤーの中心という位置付けの月ですが、1日の栗原市合併10周年記念式典及び栗原市表彰式、2日の社会教育課担当の市民芸術祭を皮切りに、記念誌発行やくりはらの思い出の歌収録のDVDの家庭配布もありました。また、今週土曜日には、市民祭りが例年に拡充して開催され、一層の盛り上がり期待されます。

記念事業の一つで、若柳ドリームパルで8日に行われたNHK「俳句王国がゆく」の公開収録に、私も参加しました。漫才師のU字工事さんが司会をし、ゲストに増田明美さんやマギー

審司さん等が来ました。栗原代表の方を加えたゲストの方々が紅白に分かれて、栗原の風物を訪ねて俳句を作るなどして、勝ち負けを競うという内容でした。ステージスクリーンに紹介された映像や参加者の当地についての発言などから、栗原の良さや魅力を改めて感じ、楽しい時間を過ごすことができました。いい思い出となりました。

夏季休業が終わり、学校、幼稚園には、子ども達の元気な姿が戻りました。この夏休み期間、子どもたちの特段の事故や問題行動がなく、スポーツや学習、地域の活動等で頑張る姿、元気な姿がたくさん見られたことは何よりです。多くの皆様のご協力、見守りの中で、子どもたちの健全な成長が図られていることに感謝申し上げます。

教育委員会各課においては、多彩な事業が続く中で、それぞれの事業展開に創意を生かし、連日鋭意頑張っておりますこと、本当にご苦労様です。

さて、先日、宮城県教育委員会・市町村教育委員会教育懇話会県北圏域会議が、登米合同庁舎を会場に開催されました。

テーマは、「特別支援教育の充実」で、大崎市西部の小中10校が中核校の特別支援教育担当教員の専門性を高めてセンター的機能を果たしながら協力して通級による指導に取り組んでいる事例と、石巻市で就学相談にあたって、保健師や石巻支援学校と連携しながら取り組んでいる事例の紹介がありました。宮城県教育委員会特別支援教室からは、障害児の自立と社会参加のために学校が作成する「個別の教育支援計画」の作成状況が全国平均78%に対して宮城は63%であることや、その新たな様式の作成や活用の仕方について説明がありました。

宮城県教育委員会からは、他に、東日本大震災の影響による学習継続困難要因を抱える児童生徒に適切な支援を行う「みやぎ子どもの心ケアハウス（仮称）事業」の計画等の説明がありました。

また、去る4月14日に実施した宮城県学力・学習状況調査の結果（速報）については、全体の平均正答率で、小5、中2の全ての教科で、県が設定した全国的な水準で期待すべき想定平均正答率との乖離は5ポイントの範囲内と有意差は見られなかったということでした。震災の影響に関する質問では、小5では影響を感じていると回答した割合が増えている一方、中2では徐々に減っているという結果であり、今後も、個々の児童生徒を注意深く見守りながら心のケアを続け、家庭学習を含めて落ち着いて学習できる環境の整備を進めていくということでした。

本調査結果については、義務教育課で詳細な分析を進め、特に、4月に実施した全国学力・学習状況調査結果、これは、昨日結果が公表されましたが、この結果と連動させた検証を行っていくということでした。本市でも、学力向上対策に多方面から努力を続けているところですが、これら2つの調査結果の検証によって、本市小中学生の学力向上に向けた課題克服の新たな手掛かりを得て、事業展開や学校、家庭への情報提供や啓発に生かすことができればと思います。

本日のご審議よろしくお願いいたします。

8. 前回教育委員会会議録の承認

佐々木委員長　それでは、日程1、前回教育委員会会議録の承認について、お諮りします。事務局に内容の説明を求めます。

事務局　平成27年7月29日、本会場において開催されました平成27年第8回栗原市教育委員会定例会でございますが、ご審議いただいた議案は、「議案第54号 栗原市私立幼稚園就園奨励

費補助金交付規則の一部を改正する規則について」を含む3議案でございましたが、「議案第55号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について」で1件の保留を除き、全て承認可決されました。

以上でございます。

佐々木委員長 説明が終わりました。この内容について、ご質問等はありませんか。

「なし」の声あり

佐々木委員長 ご異議なしと認め、前回教育委員会会議録は説明のとおり承認することとします。

9. 教育委員会会議録署名委員の指名

佐々木委員長 日程2、教育委員会会議録署名委員の指名を行います。

例により議長から指名します。

1番の笠間委員と3番の亀井委員をお願いいたします。

10. 教育長報告

佐々木委員長 日程3、教育長報告を行います。

教育長から報告をお願いします。

亀井教育長 それでは、一般事務報告をさせていただきます。まず、私に対応した事業等につきましては別紙資料がございますので、ご覧いただきたいと思います。

8月に入りまして、季節は秋という感じであります。田んぼも色づきはじめ、稲刈りの始まりはいつもより早いのかなという感じです。学校では夏休みが終了し、24日から1学期最後の月に入るということで、また始まったところであります。一方、社会教育だとか、教育部の事業につきましては、先程委員長さんがお話しなさいましたように、10周年記念イベント目白押しの年度でありまして、そういう意味では、職員一丸となって取り組んだところでありまして、よくがんばってくれたということで、私自身も職員に対して感謝しているところであります。その中で、8月12日から16日まで花山青少年自然の家で行われました市内中学・高校生の合同合宿学習会でございますが、高校生が142名、中学生が25名の参加でございまして、非常に有意義な学習会でなかったかと思えます。なお、その様子を仙台放送が取材をしております。9月1日、午後6時15分から、仙台放送で、特に事件が入らなければその時間に放映されるという運びになりますので、是非ご覧いただきたいと思います。学校関係におきましては、世間では大阪寝屋川市の中学生2人が殺されるという痛ましい事件、仙台市のいじめ、矢巾町のいじめ等々全国的なニュースとなっております。おかげさまで、市内小中学校におきましては、そのような大きな事故もなく、無難に過ぎたのかなと思っております。夏休み終了後、8月24日の出席状況でございますが、不登校と思われる子どもたちの数をお知らせしたいと思います。小学校が8名、昨年比3名多いということになります。中学校につきましては22名、昨年比マイナス6名という状況でございました。その他、大きな事故はございません。ただ、8月21日頃でしたか、尾松幼稚園で集団感染性胃腸炎、ノロウイルスによる集団感染がありまして、11名が罹患しました。これは預かり保育です。まだ幼稚園始まってないので。それで、保健所等がはいりまして、ノロウイルスが検出されたということです。保健所の指導、県のスポーツ健康課等の指導によりまして、園閉鎖は行っていなくて、子どもたちも全員回復に向かっているという現状です。

次に、本日の新聞に掲載されておりましたが、全国学力・学習状況調査結果が発表になります。

した。小学6年生と中学3年生の国語、算数・数学、理科の3教科にわたっての結果が発表されたわけであります。詳細につきましては、あとで担当の方から説明があると思いますが、簡単な分析等を加えたペーパーを用意しておりますので、ご覧いただきたいと思っております。栗原市の現状といたしましては、全ての教科におきまして、県・全国平均を若干下回っているという現状でありまして、大体、宮城県の傾向と同じような推移を辿っているようでございます。その辺につきましては、今後検討していかなければならないと思っております。ただ、今日の新聞にも掲載されておりましたが、4月21日頃調査があるわけですが、そこまではぜんぜん教科書にふれず模擬テストをしている学校があるなど、学力テスト対策だけが目的にならないかいろいろなことが言われてます。数字としてはなかなか追いつけない現状でありますので、今後とも学校等に働きかけながら、学力向上に努めていきたいと思っております。どちらかという小学校より中学校が悪いです。部活だとか様々な要因はあると思うのですが、もうちょっとがんばらなければと考えているところです。

次に、昨年12月に市内の中学生が自死するという事故がございました。その調査委員会を開催しておりますが、既に16回の調査委員会を開きまして、8月30日に17回目、そこで大体の報告書の形が出てくるのかなと思っております。そして、9月6日に18回目がございます。そこで、うまくできれば報告書の答申ができるかどうか、その辺はつきりしませんが、一応その辺まで進んでいるところであります。これにつきましては、できましたら、市長と協議いたします。そして、これは当然マスコミにも投げ込みしなければなりません。マスコミ、それから、自死した子どもの保護者等への報告、間違いのないような手筈で進めていかなければならないと思っております。その折には、委員さん方にも報告申し上げたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。今後、かかるような事故がないように進めていきたいと思っております。文科省でも、これまでのいじめ「ゼロ」というのはおかしいんじゃないか、再度調査しなさいというような通達を出したようでございます。その辺につきましては、各学校、やはりいじめは絶対あってはならない、子どもの命を絶つようなことは絶対あってはならないということで、指導に努めていきたいと思っております。

次に、今後いろいろな事業がたくさん続きます。先程お話しありました、8月29日、市民まつりがございます。8月30日は仙台フィルハーモニーのマイタウンコンサートがございます。9月6日には案内がいつているかと思っておりますが、地区民の運動会が市内18か所で開催されます。9月8日から10月2日までは定例議会が開催されます。あとで担当から提出予定議案等について説明があるかと思っております。それから、9月17日、これも案内あるかと思っておりますが、小学校の陸上競技大会がございます。これにつきましては、今年度で最後でございます。来年度からは、6月に陸協でやっている交流大会、これといっしょの形の開催ということが決定しております。それから、幼稚園の運動会シーズンにも入ってきます。さらに、9月19日には10周年記念講演会ということで、「宇宙へ みんなの夢を子どもたちに」ということで、宇宙探査機はやぶさの研究にあたっている阿部先生をお迎えしまして、ドリームパルで行うことになっております。9月26日、27日には中体連の新人大会でございます。併せて、高円宮牌女子ホッケー日本リーグ戦が築館・一迫多目的競技場を会場に開催されますので、是非ホッケーの持つすばらしさを委員さん方にもご覧になっていただきたいと思っております。また、先の話になりますが、11月8日、今年から栗原ハーフマラソン大会開催を予定しておりますが、思ったよりも参加者が少ないという現状でありまして、本来であれば8月いっぱい申込期限でございましたが、9月25日まで申込期間を延長するとともに、新たな

形でのPR活動、新聞記事、テレビ等を使つての宣伝、さらに参加者を多くするための努力をしていきたいと思つているところでもあります。

次に、今日出す案件でございますが、ひとつは、委員さん方にもご協議いただきました「平成26年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書」ですが、学識経験者、大学の先生の意見を付したものができたわけでございます。ここで承認いただければ、議会前に議員さん方に送付したいと思つておりますので、よろしくお願ひいたします。

また、幼稚園でございますが、来年度から新しく栗駒地区で幼保一体施設が4月から開園することになります。その名前と、現在工事を行つております志波姫地区のふたば幼稚園の名称につきまして、改廃、一回やめて、また新しく園を開園するという手続が必要になりますことから、提案するところでございますので、よろしくお願ひいたします。

最後になりますが、委員さん方ご承知のとおり、宮野と富野の境の大仏山「入の沢遺跡」、全国的にも北限で、非常にめずらしい鏡なども出てきた遺跡でございます。本来はそこをバイパスが通る予定になっておりましたけど、様々な意見がありまして、現在バイパスを作るコースの変更ができるか、あるいは保存をどうするかということについて、国交省、文化財保護課等々と協議をしていくということでありまして、いつになるかわかりませんが、そう遠くない時期といひますか、今年度中、もっと早くなると思ひますけれど、方向性がでてくると思ひます。バイパスの完成は30年来のひとつの思ひでございますが、ああだ、こうだ、ともめると、国交省もそこでストップしますというスタンスでございますので、それが進まないといひ10年間以上ほつておかれるという現状もあり、一方では遺跡も大切であるといひことで協議を重ねているところでございますので、ご報告申し上げておきたいと思ひます。私からは以上でございます。

佐々木委員長 只今の一般事務報告についてのご質問はございませんか。

白鳥委員 11月8日のハーフマラソンの募集人数は何名で、現在何名の申込みですか。少ないといひことですか。

社会教育課長 募集人員につきましては全体で1,600名で、それに対して現時点で申込みは約300名であります。

白鳥委員 1,600人とは多いですね。これは他の地区でやっているようなちゃんとしたハーフマラソンなんですか。

社会教育課長 今年度、ハーフマラソンと10キロについては日本陸連から公認をいただいておりますので、カップマラソンも公認コースで行つていますが、栗原市でも公認コースで行うハーフマラソンといひことなんです。人数ですが、ハーフマラソンに限つて言へば、1,000人に対して、昨日の時点で約190名であります。

笠間委員 どこかの大会と重なつたりしてゐるんですか。

社会教育課長 大変申し訳ありませんが、そこは把握しておりません。

笠間委員 知り合ひで結構出てゐる方がいらつしゃつて、この話を何か月か前にしてたんなんですけど、ちよつと宣伝が足りなかつたんじゃないかと…してたとは思ひますが目につかないといひか、コースはすごくいいと思ひるので、もうちよつとお祭りの、楽しい感じでやらないと。「わかつたら連絡してね」と言われてた私もこの間まで気が付かなかつたくらいで、ネットでみて「あら、今月いっばいだ」と思つたので。やはり少し宣伝の仕方を考えないと。この間新聞に載つたから逆に宣伝になつたかなと思ひますけど、もっと楽しめるような感じの方向でやつていかないとと思ひます。

社会教育課長 まさにご指摘のとおりでございます。遅ればせながら、先程教育長がお話ししたとおり、新

聞広告として掲載する予定ですし、テレビでも15秒スポットで流して、9月25日まで募集を延長しております。ご指摘いただいたものは、来年度に生かしたいと思います。

白鳥委員 小学校の陸上大会ですが、9月にやっていたのが6月の陸協のほうにということなんですが、それについては、学校と陸協と協力しながら、時期は6月ということなんですか。

亀井教育長 これにつきましては、これまでも校長会から6月にやり、9月にやるということで、勉強とか様々なことで、一本化したいという声は、ここ7、8年前から出て、協議を重ねてまいりました。昨年度、陸協と校長会の役員が集まりまして、一本化するということになりました。なぜ6月にするのかというと、6月の大会というのが全国大会の予選を兼ねている大会でありまして、そこでやらないと、全国だとか県大会にも出れないという状況でありますので、そこで実施する、それから、5月末には運動会があって、子どもたちも練習をしていますので、6月頃にやるのがいいのではないかなったわけです。この後、17日の陸上競技大会が終わった後に、委員会を作りまして、また再度話し合いながら、どういう形にするかというのを詰めることにしているところ です。

佐々木委員長 私も、最初に話が出た年度あたりから聞いて考えてきたんですが、秋の大会が果たしてきた役割というか、児童の体力向上ですね。もちろん、陸上の技術的なこともさることながら、基礎体力の向上に貢献してきたんですね。今、スクールバス等で体力の低下が懸念されている中で、校長会の、勉強等が忙しいっていうのもわかるんですが、なくなったことについての補足対策みたいなものもその場で出していただいたりしながら、少しでもなくなったことに対するマイナス要因をカバーできるような対策を是非行っていただきたいなという風に思います。

亀井教育長 本当に、委員長さんおっしゃるとおりで、知・徳・体バランスのよい成長というのが当然必要でありまして、体力について、市の調査結果を分析してみました。5年生なんですが、女子は全体的に県平均、全国平均を上回っているような結果が出ていました。種目によってはおちるのがありますけども、そういう体力・運動能力の状況であります。ただ、陸上大会がなくなることによって、運動の日常化がなくなると、体力低下につながる恐れがありますので、例えば、校庭を走るだとか、運動内容を工夫するだとかしながら、体力向上に努めていくような働きかけはしていきたいなと思います。

佐々木委員長 学校によってちがうんですけども、中学年・高学年の子をほとんど参加させるような体制で進んできた経緯があるというので、果たしてきた役割は少なくないと思いますので、是非今のよう なものが具現化されるようお願いしたいと思います。

ほかにございますか。

「なし」の声あり

それでは、日程3、教育長報告を終わります。

11. 議事

佐々木委員長 日程4、議案第57号、栗原市立幼稚園の廃止及び新設についてを上程します。内容の説明を求めます。学校教育課長。

学校教育課長 議案書1ページをお開き願います。議案第57号、栗原市立幼稚園の廃止及び新設についてご説明します。

今回廃止及び設置する栗原市立幼稚園につきましては、来年4月の開園にむけて、現在、施設整備を行っております栗駒地区と志波姫地区の幼稚園になります。両地区の幼稚園とも、幼稚園と保育所が一体となった幼保一体型の幼稚園として、また、栗駒地区におきましては、地域内の

4つの幼稚園を再編し、これまでの2年保育から3年保育の実施に向けて、新たな幼稚園を設置するものであります。

廃止する既設の幼稚園の名称及び所在地につきましては、表のとおりでございます。栗駒地区は、岩ヶ崎幼稚園、尾松幼稚園、栗駒幼稚園、鳥矢崎幼稚園の4園でございます。志波姫地区につきましては、ふたば幼稚園1園でございます。廃止の年月日につきましては、平成28年3月31日であります。

新設する幼稚園の名称につきましては、これまで再編を行ってきた幼稚園と同様に、地区名を名称として、栗原市立栗駒幼稚園、栗原市立志波姫幼稚園とするものであります。

所在地につきましては、栗駒幼稚園は、栗原市栗駒岩ヶ崎上町裏207番地の1、志波姫幼稚園は従来の幼稚園の場所と同一の所在地となります。

以上、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第1項第1号の規定により提案しますので、よろしくご審議を賜りますよう、お願い申し上げます。

佐々木委員長 説明が終わりました。只今の説明についてご質問はございませんか。

白鳥委員 栗駒幼稚園の園舎というのは新設ですか。

学校教育課長 旧市営住宅の用地でございました岩ヶ崎地区の伝創館の斜め向かいの土地に、幼稚園と保育所が一体となった施設ということで、幼稚園につきましては3年保育、3歳以上の子どもを対象とする幼稚園ということで、現在施設整備を行っております。工期通りに進めば12月には本體工事は完成する予定でございます。

亀井教育長 ひとつ追加します。併せて、中野保育所と岩ヶ崎保育所というふたつの保育所がございます。その保育所もいっしょに廃止して、一体化するということで今工事を進めているところであります。志波姫も同じでございます。志波姫も今幼稚園と保育所が離れております。それを、幼稚園はその場所で造成しまして、そこに古くなった保育所を新設するという形で、今造っているところであります。

笠間委員 志波姫の場合は名前が変わるだけなんですけども、園児服というのは、栗駒の場合はいろいろ集まるということで、新しくなるんですか。

学校教育課長 園児服を決めている幼稚園とそうでない幼稚園がございますので、幼稚園の判断の中で、今後開園までに向けて、幼保一体型となりますので、幼稚園側と保育所側の教職員が協議しながら対応するというところでございます。

佐々木委員長 ほかにご質問ありますか。

「なし」の声あり

佐々木委員長 原案のとおり承認してよろしいですか。

「異議なし」の声あり

佐々木委員長 ご異議なしと認め、日程4、議案第57号、栗原市立幼稚園の廃止及び新設については原案のとおり承認することとします。

佐々木委員長 日程5、議案第58号、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書の提出についてを上程します。内容の説明を求めます。教育総務課長。

教育総務課長 それでは、議案書の2ページをご覧いただきたいと思っております。議案第58号、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書の提出についてを説明します。

先にお渡ししております「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書」これに従ってご説明申し上げます。

1ページをご覧いただきたいと思っております。点検及び評価制度につきましては、地方教育行政の

組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育行政事務の執行状況の点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することが義務付けられているものでございます。宮城教育大学に専門的なご意見を依頼いたしました。同校の永井先生及び越中先生からご意見いただきましたものを報告書案として再調整したものを議会に提出するにあたり、承認を求めるものであります。永井先生及び越中先生からのご意見につきましては、報告書の7ページから38ページまで、施策ごとに、学識経験者の意見として載せており、39ページ及び40ページに総評としてご意見をいただいておりますので、ご覧いただきたいと思っております。目的及び事業等については、先に何度かご審議いただいておりますので、説明は省略させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

続きまして、報告書の41ページをご覧いただきたいと思っております。こちらにつきましては、点検・評価における意見をいただきましたので、その対応といたしまして、栗原市教育委員会の今後の方向性について、ご意見をいただいた項目ごとに整理したものでございます。その内容につきましてご説明したいと思っております。

まず1番目に「創意と活力に満ちた特色ある学校経営への支援」についてであります。この件につきましては、概ね事業の成果が得られているとの意見をいただいております。今後も、きめ細かな学習指導と教育環境整備の充実に向けての事業を推進し、就学前教育については幼児教育構想の具現化に向けた体制整備と充実を努めてまいりたいと考えております。

続きまして、「学力向上を図るための学習指導等の工夫・改善及び学習規律・学習習慣の形成」でございます。この件につきましても、一定の評価をいただき、今後も教育研究センターの機能を生かした運営に努め、学習環境整備や学習機会の確保に努めてまいります。

続きまして、「自らの命を守るための防災教育の推進」についてであります。これにつきましては、連携した防災教育を推進し、防災副読本や防災教育資料の活用方法を検討しながら、ジオパーク関連の資源を活用した防災教育の推進についても、学習できる機会を検討してまいります。

続きまして、「いじめを許さない学校づくりの推進」についてであります。市及び学校においていじめ対策が進んだことに対しては評価をいただいておりますが、どの学校にもいじめはあるとの認識のもと、いじめに対して適切に対処する体制、いじめの未然防止と早期発見のための体制を検討してまいりたいと思っております。

続きまして、42ページをご覧いただきたいと思っております。「一人一人を大切にし、豊かな心を育むための道徳教育及び生徒指導、特別支援教育の推進」についてであります。これにつきましては、特別な支援を必要とする児童・生徒に対し早期支援体制の確立、個別の教育支援計画、個別の指導計画をはじめとする合理的配慮に努め、一貫した支援体制の構築を進めてまいりたいと思っております。

続きまして、「健やかな体を培う体育・健康教育の充実」についてでございますが、取り組み内容が不明確であるように思われるとの意見をいただきました。調査結果の分析とともに、結果を活用した取り組みを進め、体育・健康教育の充実を図ってまいりたいと考えております。

続きまして、「生涯にわたり学習機会を提供し、自らの能力向上を図る学びの連続性及び市民が行う生涯学習の支援に努め、社会教育事業や施設整備を図る」についてでございます。昨年度の課題が今年度どのように生かされたかとのご意見でありましたので、各事業の評価・改善を図りながら地域の人材を活用した事業を実施してまいりたいと考えてございます。

続きまして、「国際理解のための学習や事業を通じ、市民の国際感覚を高める」についてで

ございます。間接的・長期的な成果が得られているとの評価をいただいております。今後も、国際的視野を持った人材の育成に努めてまいりたいと考えてございます。

続きまして、「市民が行う文化活動の支援に努め、地域に根ざした文化芸術の推進を図る」についてでございます。市民ニーズの把握に努め、芸術文化を自らが楽しみながら活動し続けられる環境の整備に努めてまいりたいと思います。

続きまして、「文化財の保存・継承に努めるとともに、活用を推進する」についてでございます。歴史文化の継承支援・伝統芸能活動支援において、各団体の実情を把握し、効果的な支援を検討してまいりたいと考えております。

最後になりますが、43ページをご覧ください。「市民が行うスポーツ活動の支援に努め、社会体育事業や施設整備の充実を図る」についてでございます。市民のニーズに応じた工夫と、社会体育施設の整備を図りながら、市民の健康増進に努めてまいりたいと考えております。

以上で説明を終わります。よろしく、ご審議賜りますようお願いいたします。

佐々木委員長 説明が終わりました。ご意見、質問等はございますか。

白鳥委員 41ページの「創意と活力に満ちた特色ある学校経営への支援」という中で、少人数学級編制という文言があるんですが、確認ですけど、少人数学級の編制というのは、例えば子供が40人いれば、2クラス、20人、20人になる、それが少人数学級ということで、それは県から教員が配置されないで市職員でやるという形なんですか。中身をちょっと教えてください。

学校教育課長 ここに書いてあります少人数編制のための任期付き市費負担教員ということですけども、学校再編の計画の中で、少人数学級の編制ということで、現在、国と県の制度では小学校1、2年生と中学校1年生が35人、それ以外が40人ということですけども、栗原市においては35人ということで学級編制をするということになりますので、例えば36人になると18人づつの学級になります。その時には県費負担教員は配置されませんので、その配置されない分を市費の方で任期付きの市費負担教員ということで採用しておりまして、現在10名採用してございます。

亀井教育長 表現が少人数学級、少人数指導となっております。国にさきがけた35人学級の編制のためというような文章表現にすれば、よりわかりやすくなるという指摘も今あったのかなと感じたんです。ただ少人数とすると何かなというような感じになると思ったところであります。

学校教育課長 ただいま説明した35人学級編制のための部分につきましては10人採用しておりまして、併せて少人数指導ということで、今年度は国語と社会の教諭を、本来ですと、数学、英語も採用したかったところですが、5人の募集に対してなかなか応募がなかったということで、少人数指導の教員については、臨時職員という形で、今年度3名任用している状況でございます。

亀井教育長 わかりやすく直した方がいいかもしれませんね。

佐々木委員長 ほかにございませんか。

40ページに、宮城教育大学の先生の総評があつて、それを受けて今後の方向性には書かれているんですけども、例えば、結果分析に関してどのような取組みがなされたか不明であったとか、その下はどのような成果をもたらしたかについて報告書からは読み取れないとか、一番下は何を根拠にしているのかをできる限り明示いただきたいとかあります。来年もまたそういう報告をしていくわけなので、こういう指摘を是非意識して、裏付けを取るといったところを、なかなかいろいろな事業の、数値とか参加者とかそういうところでは示せないのもありますので、工夫して、少しでも根拠になるところを示せる工夫をしていけばいいと思います。

それでは、原案のとおり承認してよろしいですか。

「異議なし」の声あり

佐々木委員長 原案のとおり承認することとします。

お諮りします。個人情報であります、日程6、議案第59号、要保護及び準要保護児童生徒の認定についてを秘密会としてよろしいでしょうか。

「異議なし」の声あり

佐々木委員長 ご異議なしと認め、日程6については秘密会とします。

12. その他

(1) 各課報告

佐々木委員長 本日の日程が終了しましたので、各課報告に入ります。事務局に報告を求めます。教育総務課長。

教育総務課長 教育長の方からお話がありましたが、9月4日から開会予定であります定例議会に提出する案件等についてが本日お渡ししております資料でございます。1ページ、2ページにつきまして、議会に提出する案件でございます。1ページにつきましては条例改正で、2ページにつきましては補正予算の要求概要でございますので、最初に、この件につきまして、各課からご説明申し上げます。その後、通常各課報告とさせていただきますので、よろしく願います。

それでは、資料の1ページ、平成27年第5回栗原市議会定例会提出議案概要について、担当課から説明させていただきます。

社会教育課長 1番目の「栗原市放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例」についてであります。築館、志波姫放課後児童クラブの定員を確保するため、位置を変更するものであります。また、一迫地区の放課後児童クラブを一迫放課後児童クラブに集約するため、金田、長崎、姫松の各放課後児童クラブを削除するものです。なお、施行日は平成28年4月1日であります。平成27年11月1日から入所児童を募集するため、市議会9月定例会に提案するものであります。

2番目、「栗原市体育施設条例の一部を改正する条例」についてであります。現在旧築館高等学校体育館跡地に整備している築館テニスコート兼ゲートボールコート进行管理するため、所要の改正を行うものであります。

学校教育課長 続きまして、3番目の「栗原市立学校設置条例の一部を改正する条例」についてであります。先程、議案第57号でご説明しましたとおり、栗駒地区及び志波姫地区における幼保一体施設の整備に伴い、再編等の対象となる既設の幼稚園を廃止し、新たな幼稚園である「栗原市立栗駒幼稚園」と「栗原市立志波姫幼稚園」を設置するため、所要の改正を行うものであります。施行日は平成28年4月1日であります。学校教育法施行規則に定めます入園手続等の準備を行うことから、9月議会に提案するものであります。

続きまして、4番目の「栗原市立幼稚園授業料等徴収条例の一部を改正する条例」についてであります。平成28年度から、小学校就学前の子どもの幼稚園3年保育を実施することから、家庭において必要な保育を受けることが困難な子どもに対し、預かり保育の土曜日実施、預かり保育の時間延長等の幼稚園の保育サービスの拡充を行うため、当該保育サービスの利用料等について、所要の改正を行うものであります。こちらにつきましては、施行日は平成28年4月1日でございますが、園児の募集にあたりまして、条件等を提示する必要があることから、9月議会に提案するものであります。

佐々木委員長 只今の2つの課の説明に対し、質問はございますか。

亀井教育長 ひとつ、1番について補足説明させていただきます。放課後児童クラブでございますけど、現在築館地区においては、築館小学校南校舎を使ってやっておりますけど、今度築館幼稚園を新しく建てましたので、現在旧園舎が空いているわけです。よって、現在学校でやっていた放課後児童クラブの場所を、旧築館幼稚園に移しまして、そこで実施するという変更であります。一迫は前から説明していたとおり、ひとつにするということでございますので、よろしく願いいたします。それから、志波姫につきましては、現在保育所の脇に少し古くなった建物がありまして、そこで行っています。そこが定員ぎりぎり年数もたっている建物なので、志波姫幼稚園が新しくできれば、現在志波姫小学校の附属施設として西側に建っている建物を放課後児童クラブにするということで、変更する運びになるわけでございます。

佐々木委員長 4番の、家庭において保育を受けることが困難な子どもの数というか、全体の中に占める割合はどのくらいですか。

学校教育課長 詳細な数は把握していないところでございますが、現状では幼稚園に入園している幼児の大体5割から6割前後が預かり保育を利用しているところでございます。それに、現在、例えば栗駒地区ですと2年保育でございますので、3歳児の中でこれまで保育所に入っていたお子さんもおりますので、そういった方が入ってくるとなると、入園する幼児の7割くらいまで預かり保育の希望というのがあがってくるのかなということで捉えております。今回4月の定例会でも示したとおり、幼稚園の3年保育の実施にあたって、0歳から2歳は保育所、3歳以上は幼稚園といったすみわけを進めることから、3歳以上の子どもの中で、保育を必要とする子どもが当然出てくるわけですので、そのための土曜日の預かりを実施、又は保育所と同様に預かり保育の時間の延長、早朝の前倒し延長と夕方の延長といったような料金を定めるものでございます。

白鳥委員 土曜日まで開設するとすると、勤務する先生方、週休2日という考えでシフトを組んでいくという考えですか。

学校教育課長 現在も預かり保育の関係で、早番、遅番という形も当然取っているところでございますけども、基本的には、正職員と非常勤職員で対応しているところでありまして、土曜日だからと言って非常勤職員だけの対応は不可能だと思いますので、正職員については変則勤務という形で、4週8級の形で、勤務ローテーションを組むといったように勤務日を設定しまして、それに非常勤職員を充てるといった形で対応していきたいと思っております。

佐々木委員長 それでは、次は補正予算です。学校教育課長。

学校教育課長 それでは、学校教育課所管部分についてご説明いたします。最初に、3款民生費、5項災害扶助費、2目復興支援費であります。東日本大震災による被災幼児就園奨励費で41万8千円を追加するものであります。内容といたしましては、東日本大震災で半壊若しくは全壊となった世帯に対する私立幼稚園の授業料と給食費相当部分について補助金を交付するものでございます。

続きまして、10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費でございます。子ども・子育て支援法施行に係る幼稚園関係の事務量の増加に伴い、臨時職員賃金7万8千円と、教育研究センター玄関庇補修工事費として需用費修繕費に94万円を追加するものであります。

続いて、10款教育費、4項幼稚園費、1目幼稚園費でございます。子ども・子育て支援法施行後、公立幼稚園は新法に基づく幼稚園ということになります。従いまして、公立幼稚園の広域利用に関しても、新たに市町村間で公定価格による給付が必要となりました。このことにより、利用者の住所地である市町村は、幼稚園設置市町村に施設型給付費を支払う必要があることから、栗原市に住所を有する幼児が通園する登米市の幼稚園に係る公立幼稚園施設型給付費、公定価格1人につき40万円×4人ということで160万円を、負担金、補助及び交付金に追加するもの

であります。以上でございます。

佐々木委員長
教育総務課長

教育総務課長。

それでは、教育総務課の所管分を説明申し上げます。10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費の教育総務事務局費に94万円の追加でございます。これにつきましては、臨時職員が学校の敷地内の作業中に負傷したもので、症状が固定したため、5節災害補償費に公務災害に伴う障害補償給付金として93万円、8節報償費にその障害等級の決定に係る意見書の作成謝礼として1万円を追加するものでございます。

続きまして、10款教育費、2項小学校費、3目学校建設費の小学校跡地利活用事業費に1,700万円追加でございます。これにつきましては、平成26年度に閉校いたしました旧富野小学校プールを解体するもので、13節委託料に実施設計施工監理業務委託料に100万円を追加、それから、15節工事請負費にプール解体工事費及び舗装工事費として1,600万円を追加するものであります。

続きまして、幼稚園費でございますが、志波姫地区と栗駒地区の幼稚園の整備事業費で補正額が62万6千円と61万4千円でございますけれども、これにつきましては、只今志波姫幼保一体施設、栗駒幼保一体施設を建設中でございます。その施設の水道の口径を当初40ミリで計画してございましたが、50ミリに変更するというので、水道の加入金が変わってまいりますので、加入金の差額、不足分を負担金補助及び交付金に追加するものでございます。

続きまして、3ページをご覧くださいと思います。保健体育費の学校給食費でございます。単独調理幼稚園給食費345万円の追加につきましては、今年度開園いたしました築館幼稚園の給食調理員の賃金を追加するもので、非常勤職員及び臨時職員の賃金を追加するものでございます。以上でございます。

佐々木委員長
社会教育課長

社会教育課長。

10款教育費、5項社会教育費、1目社会教育総務費でございますが、生涯学習推進費50万円の追加につきましては、子どもの居場所づくり事業補助金の新設による追加でございます。この事業につきましては、市内で青少年の育成を目的として活動し、又は活動を予定している団体に補助を行うもので、補助対象経費の二分の一以内を補助し、1事業あたり100万円を限度とするものでありますが、半年の事業ということで50万円の追加を行うものであります。

次に、文化振興事業費55万円の追加でございますが、これにつきましては、11月23日に栗原文化会館で開催されます海上自衛隊横須賀音楽隊のコンサート時の隊員の宿泊代1泊分の追加であります。

次に、2目公民館費、公民館総務費441万3千円の追加であります。これにつきましては、施設修繕料として190万7千円の追加でございます。志波姫公民館のカーテン、金田公民館のカーテン、それから若柳公民館の受水槽の修繕であります。続きまして、遊具撤去工事費の250万5千円につきましては、鶯沢公民館と北郷公民館の遊具の撤去でございます。続きまして、公民館使用料過年度還付金1千円、これにつきましては、若柳地区の公民館使用料の重複納付3件分ということで追加してございます。

次に、5目社会教育施設管理費、文化施設費の88万6千円の追加であります。栗原文化会館の玄関、エントランス、北側軒天の天井の一部が落下しておりますので、その天井の修繕費でございます。社会教育施設費の259万7千円につきましては、伊豆沼交流センターの漏水修繕が208万8千円、それから、文字郷土文化保存伝習館の遊具の撤去工事費が50万8千円、金成生涯学習センター使用料の重複納付に対する使用料の還付金が1千円の追加となっております。

す。

3ページをお開きください。6項保健体育費、2目体育施設費の体育施設整備事業費4,923万9千円の追加であります。築館陸上競技場の3種の公認検定に伴う追加でございます。工事の監理業務の委託料の追加として392万1千円、公認検定の改修工事費の追加として4,514万4千円の追加、機械器具備品購入費の追加として17万4千円となっております。総合運動施設管理費99万8千円の追加につきましては、若柳地区にあります有賀運動公園トイレの修繕であります。以上でございます。

佐々木委員長 これまでの説明についてご質問ございますか。

「なし」の声あり

それでは、定例議会に提出する案件につきましては終了します。各課報告をお願いします。学校教育課長。

学校教育課長 それでは、学校教育課関係の報告をいたします。資料4ページでございます。最初に、平成27年度小学校英語活動「英語でチャレンジ」実施報告についてであります。8月3日、この花さくや姫プラザにおいて実施いたしました。30名の募集に対して、52名から応募があり、当日は欠席もあったことから、48名の児童が参加したところでございます。終了後のアンケート結果には、「とても楽しく活動することができ、来年も参加したい」との意見がありました。また、活動内容については、少人数でカルタ取りやクッキングなどの活動を実施したことにより、ALTとの関わりが多くなり、児童は英語に慣れ親しむことができたようです。「英語でチャレンジ」の活動も5年目となり、リピーターの子どもたちも少なくなかったこともあり、募集した人数の30人を大幅に上回る申し込みがありました。当初、予定していたALTを5名から7名に増員して対応しましたが、施設や活動内容からして、やはり、当初の規模が適切であると思われました。アンケートでは、会話やアクティビティーを通じたALTとの関わりを求める要望が多いことから、次年度に向けて活動内容を検討していく必要があると捉えております。

続きまして、資料5ページでございます。こちらは、同じく小学校英語活動「英語でキャンプ」実施報告についてであります。8月4日から5日の1泊2日の日程で、国立花山青少年自然の家において実施いたしました。15名の募集に対して、当初小学校6年生を対象に募集しましたが、応募人数が少なかったことから、対象を5年生まで募集枠を拡大し18名の参加で実施したところでございます。終了後のアンケート結果をみると、参加した児童は、「とても楽しく活動することができた」とのことで、英語でのコミュニケーションについても、ほとんどの児童が「上手にできた」「まあまあできた」と回答しているように、どの児童も英語に対する関心・意欲が高く、ALTとも積極的に関わろうという姿勢が見られました。今回、活動を多く盛り込みすぎ、じっくりとALTと関われない様子が見られましたので、急きょ2日目の日程を、猛暑等の天候も考慮して、室内での活動に変更して実施したところ、ゆっくりとしたALTとの関わりの中で、英語による「自己紹介」の仕方について身に付けて終了することができました。次年度に向けて、本来のねらいを達成できる活動の在り方、内容について検討してまいりたいと考えております。

続きまして、資料6ページでございます。「平成27年度栗原市内中学校・高校合同合宿」についてであります。先程の教育長報告でもございましたが、今年度の新たな取り組みとして、「高校生版学府くりはら塾」栗原市内高等学校・栗原市立中学校合同学習合宿」を、8月12日から14日の2泊3日の日程で、国立花山青少年自然の家を会場に開講しました。この学習合宿は、市内4高等学校との連携のもと、大学入試並びに高校入試に向けた学習意欲の高揚と実力養成を目的にしたものであります。学習合宿には、市内の中学校3年生25人と市内高等学校に通う高

校生142人が参加し、宮城県教育委員会教育長高橋仁氏、築館高等学校OBの元東京工業大学教授高橋渉氏の進路講話をはじめ、高校生は、大学入試センター試験に向けた講義、小論文演習、公務員試験講習を、中学生は市内学習塾の講師による講義と、自習ということで、大学生の学習ボランティア、東北大学、宮城教育大学、地元出身ということで遠くは東京外語大学の学生さんも来ておりましたし、岩手大学、そういった学生さん20数名に協力をいただいたところでもあります。大学生の学習ボランティアさんには、主に中学生の勉強をみていただくとともに、高校生との進路相談といえますか、年齢が近いので、そういった相談にのっていただくということで関わりを持っていただきました。参加した高校生、中学生ともに、今後の進路選択に向けて、将来の自己目標に対する志の見つめ直しや、自分自身の学力を再確認することにより、より実力を高めるための学習意欲の高揚を図るより良い機会となりました。

続きまして、資料7ページでございます。「平成27年度もっと学びたい子どものための学府くりはら塾」についてであります。今年度で、8回目の開催となります。中学生を対象に、夏休み前までに学習した国語、数学、英語の3教科について、宮城教育大学の学生が講師となって、生徒が抱える教科の課題や弱点の克服を図る目的に、8月16日から20日までの5日間の日程で、栗原市教育研究センターを会場に開催し、中学校1年生から3年生の131名が参加しました。講師として協力をいただいた宮城教育大学の学生は16人で5日間で延べ60人ということで、指導を頂きました。授業の内容は、学生が作成したプリント問題等を活用し、生徒の苦手意識の確認や問題克服を目指しました。また、毎日の最後の時間に、生徒から家庭学習の仕方や、特に3年生には高校受験に向けた対策等の相談を受ける時間を設けました。今年度から、バス送迎を行ったところ、参加者が大幅に増加しました。学習内容は、生徒からも好評で、「わかりやすかった」、「しっかりと復習できた」、「来年もまた来たい」との感想が寄せられ、また学生からも「貴重な体験で、大変勉強になった」の意見など、大学側からも効果があるとの評価を受けました。

続けて、資料8ページでございます。平成27年度学び支援コーディネーター等配置事業 学府くりはら塾「夏休み学習会」についてであります。今年度も、学習習慣の形成、基礎的・基本的学習内容の定着、活用する力の育成等を通じた学力のレベルアップを図ることを目的に、8月20日から22日までの3日間の日程で、栗原市文化会館と金成庁舎を会場に開催し、小学校3年生から6年生の106名が参加しました。今年度は、学び支援員として、宮城教育大学の学生の他、尚絅学院の大学生の協力も受けています。一会場あたりの人数を少なくしたことや学び相談員、学び支援員が子どもたちに適切に指導したことで、例年以上に学習に集中して取り組む姿が見られ、子どもたちからも「集中して取り組めた」「充実感を味わえた」という感想が多く寄せられました。

最後に、資料9ページと10ページをご覧いただきたいと思っております。「平成27年度全国中学校体育大会結果について」であります。今年度の全国中学校体育大会には、市内の中学校5校の生徒が7種目の競技に出場いたしました。結果は、栗原西中学校の男子ホッケー部のベスト8をはじめ、資料の通りであります。

続きまして、白鳥次長から、昨日公表されました全国学力学習状況調査の結果概要について説明いたします。

白鳥次長 教育長報告の中にもありました全国学力・学習状況調査に関しまして、速報という形で、本日A4両面の資料を出させていただいております。この調査につきましては、4月21日に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施されたものでありまして、昨日、その結果が送られてきたところでございます。調査内容については、もうこの調査は8回を数えておりますのでご存知かと思っておりますが、学力の部分ということで、国語、算数・数学、3年に1回、理科ということで、それぞれ基礎・

基本の定着度合を計るA問題と、活用・応用問題のB問題に分かれております。理科についてはA問題、B問題ということはなくひとつになっております。それから、もうひとつは、児童・生徒の学習時間、或いはテレビの視聴時間などを、アンケートというか調査するものでございまして、2種類になっております。分析については、詳細はこれからということでございます。今日は、学力の数値的な部分の報告ですが、残念ながらと言うんでしょうか、教育長が申しした通り、平均正答率でいいますと、栗原市の小・中学校とも全国、県と比較して、いずれも下回っているということでございまして、中でも、国でも5ポイントのプラスマイナスはいいですよというように言っていますので、そういったところからみると、小学校の国語の活用の問題、それから算数もですかね、それぞれマイナス7.3、マイナス6.1ということなので、これは課題がみられるかなということと、中学校では、A問題、B問題とも5ポイント以上の開きがありますので、こちらも課題がみられるということです。小学校については、だいぶ追いついてきたところであったんですが、今回ちょっと残念な結果というところでございます。今後の対策としましては、まず結果の分析ということで、市教委の指導主事、それから、教育研究センターの指導主事、特任教授、栗原地域事務所の指導主事といっしょに、結果について分析をしていくということでございまして、各学校においては、これまでもやっておりますが、自校の結果について詳しく分析して、どんな問題ができなかったのか、どんな力をつけたいのかというふうなところを分析して、授業改善に生かしていくということで考えております。それから、裏面のほうですが、これは経年の8回のそれぞれの結果でございます。全国、県とのかい離状況などもございますが、近づいたり、離れたりとというようなところがございます。いずれ、学校でも毎年しっかり分析してるところでありますので、それぞれの学校の様子をみながら指導、或いは支援をしていきたいと考えてております。以上でございます。

佐々木委員長 学校教育課からたくさん報告がございました。質問を受けたいと思います。

笠間委員 英語でチャレンジなんですけど、応募者が多くて、当初の規模が適切であると思われるという結論がでたんですが、今回は全員を受け入れたということですよ。そうすると来年は定員で切っちゃうということを考えるのか、それともALTを増やしていくのか、それは、まあこれからなんでしょうけども。あと、それから、男女比はどうだったんですか。去年か一昨年、内容が女の子向けなんじゃないかって話をしたような気がします。

学校教育課長 こちらは当初、予定に比べてとても反響が良くて、定員がいっぱいになりましたということで最初はお断りしたんですけども、受託会社のインタラックのほうで、ALTを増員して対応しますということで、ある程度、ALT7名で対応できる範囲で、今回は50名という大体の目安でやったところでございます。男女別の比率は、やはり女の子の方が多い状況でした。従来の規模が適切というのは、会場の関係とかを考えると、この花さくや姫プラザの施設を考えて、一定の集団を作った中で活動する際には、当初の人数が適切かなという反省でございます。

笠間委員 中学生と高校生の合宿の件ですが、ほかの事業に関しては生徒さんたちのアンケートとか、どうだったかという感想が出てるんですけど、こちらに関しては、生徒さんたちの感想がないので、聞かなかったんですか。

学校教育課長 こちらは、中学校、高校合同の事業ということで、事業実施にあたっては、主催は栗原市教育委員会で、協力機関が栗原市内の4高校の連合ということですが、業務委託の形で、業者の方に運営や生徒の送迎等について委託したところでございます。アンケート等も実施していますので、取りまとめにつきましては、現在業者と高校のほうで集約中というところですよ。当初、実力養成ということでこちらに書いてございますけど、2泊3日の合宿ですぐに実力が上がるわけだと思っておりますので、将来を考えることのできるいいきっかけになったのではないかと捉え

てございます。

早坂委員 この場で話していいかどうか悩んだんですが、学府くりはら塾の中学校1年生の教室の中で、金成小中学校の子が他校の生徒から消しゴムのかすを持ち物の中にばらまかれたり、いやがらせがあって、いやな思いをしたという報告を受けました。

学校教育課長 そういった話は今回初めて聞きました。開会行事の後に、受講にあたっての留意事項とか、そういったことのオリエンテーションは十分にやっているところがございますので、そういった事実があるのであれば、来年、他人の嫌がることはしないということを十分に徹底してまいりたいと思います。

早坂委員 ありがとうございます。あと、もうひとつ細かいことなんですけど、学府くりはら塾での服装でちょっと迷ったお子さん、保護者さん方がいて、初日の開講式の時に制服でも運動着でもいいという書き方がなされていたので、どっちを着ていったらいいか聞かれたりしたんですけど。例えば、開講式だけは制服着用というような書き方をしていただくと、迷わないのかなと。ただ、その時期は駅伝練習を子どもたちがしているので、駅伝練習終わった後に行く子どもたちは運動着って表記されていて助かったという話もありました。悩んで、結局制服着せたけど、運動着でもよかったんだねという話をされたので、例えば、開講式だけは制服で来ましょうとか、全部運動着でいいですというようにしてもいいのかなと思いました。

学校教育課長 私も、開講式と閉講式に出ましたが、式といっても入学式や卒業式といった式典とは異なり、いわゆる開会行事の一種でもありますし、夏場の猛暑の時期でもありますので、むしろ私の感覚では、運動着で参加された方がいいのかと感じました。実は、初日、1時間目始まってすぐに、緊張のせいか具合悪くされたお子さんもいましたので、出来るだけ、暑さに耐えられるような服装で参加してもらうのがよろしいのではないかとということで、私としては感想を持ったところでございます。なお、来年度に向けて、そういったところも踏まえて、協議してまいりたいと思います。

白鳥委員 学習調査のグラフの件ですが、ぱっと見た感じ、学府くりはらを提唱して学力向上に努めてきたんですけど、だんだん悪くなってきて、そして学校統合をして適正規模の学級にしたにも関わらず、このような結果ということで、残念かなとは思っています。このグラフだけを見るとね。ただ、さまざまな成果がこれから出てくることを期待しております。

亀井教育長 たしかにこのグラフを見ると、小学校は先程いいって言ったのが果たしてどうだったのか自己嫌悪に陥ったんでありますけど、実際に、この間私のところに入った情報で、話していなかったんですけど、5年生が宮城県独自の学習調査をやっております。その結果は数値ではきておりますけど、我が市の状況について情報を得ました。そうしますと、宮城県内における正答率は今の5年生は上位であります。中学校、中学2年生はどちらかというと下位であります。そういうことからすると、来年楽しみかなと思っているんですけど、学級のまとめ方だとか学習姿勢によって、そういうのが影響されるのかなと思っています。グラフの表し方については、ちょっと工夫しなければと思っています。各学校には学校順位につきましては全学校公表しない方向でもって委員さん方と話しておりますので、自校部分だけは出していきたいと思っておりますし、校長会等の中で話すことによって、自分の学校がどうなのか自覚してくるような形を働きかけたいと思っております。

笠間委員 8ページの学府くりはら塾の下のバス送迎の件なんですけど、今年度から送迎を行ったんですけど、希望者4名増って何を基準にしているんですか。

学校教育課長 小学校の学府くりはら塾ですが、バス送迎を行いましたけど、参加者が全体で昨年より4名しか

増えなかったということであります。中学校の学府くりはら塾は参加者が50名増えて、送迎の効果があつたようであります。

亀井教育長 小学校は保護者の送迎が多かつたということですね。
学校教育課長 余談になりますが、中学校のほうでは高清水の子の参加がないという状況が続いています。
佐々木委員長 それでは、次に社会教育課長。
社会教育課長 11ページをお開き願います。平成27年度の市民運動会の開催予定の一覧表でございます。

開催日につきましては全て9月6日の日曜日に開催を予定しております。18地区が開催予定で、当日雨天の場合は、体育館か中止を決定しております。今年度から雨天順延の地区はなくなりました。初めから中止を決定しているのが、沢辺地区と津久毛地区の運動会が中止を決定しております。

次に、チラシをご覧ください。栗原市合併10周年記念講演会です。9月19日の土曜日、午後2時から、栗原市若柳総合文化センターを会場に、日本大学理工学部の阿部新助准教授をお迎えして、講演会を行います。専門的な内容だけではなくて、子どもにも理解できる内容ということで、講演をお願いしております。

続きまして、ホッケー女子日本リーグについてであります。裏面に記載してありますが、第4節、9月26日と27日、一迫ホッケー場、築館ホッケー場におきまして、女子の日本リーグが開催されます。土曜日にはエキジビジョンと書いておりますが、これにつきましては、市内の小学校のスポ少、中学校、高校のホッケー部から児童・生徒を集めて、ホッケー教室を開催することになっております。26日、27日の日本リーグの開催に先立ちまして、24日は築館小学校と宮野小学校で、25日は玉沢小学校と一迫小学校で、社会人チーム、まだどこかは決定していませんが、学校に行ってホッケー教室を行う予定としております。それから、このチラシには書いておりませんが、入場料は一般・大学生千円、高校生500円、中学生以下無料となっておりますので、是非とも入場をお願いいたします。

佐々木委員長 社会教育関係、質問ございますか。
亀井教育長 PRの方法はこのチラシだけですか。
社会教育課長 昨年度もなんですが、ポスターの下の部分に足して栗原バージョンでPRします。
佐々木委員長 オリンピック選手は来るんですか。
社会教育課長 候補選手の三橋選手や栗原出身の山梨学院の狩野真美さんなども来ます。
佐々木委員長 ほかに質問ございますか。
「なし」の声あり
佐々木委員長 それでは、以上で各課報告を終わります。ご苦労様でした。

13. 閉会

教育総務課長 以上をもちまして、平成27年第8回栗原市教育委員会定例会を閉会致します。

午後4時00分

14. 本委員会の議決の次第は次のとおりである。

議案第57号 栗原市立幼稚園の廃止及び新設について

議案第58号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書の提出について

議案第59号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

この会議録は書記が作成したものであるが、その内容の正確なることを証するためここに署名する。

平成27年9月29日

会議録署名委員 _____

〃 _____